

第55回  
大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関する  
サイバーシンポジウム  
【教育機関DXシンポ】

**KYOAI Career Gate×AIによる  
個別最適学修の実現  
～地方小規模大学DXモデルの構築と実践～**

共愛学園前橋国際大学  
国際社会学部長  
村山 賢哉



共愛学園前橋国際大学  
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY



# 共愛学園前橋国際大学について

# 共愛学園前橋国際大学の概要

## 共愛学園前橋国際大学

### 国際社会学部 国際社会学科

国際社会 専攻	E	英語コース ENGLISH COURSE
	I	国際コース INTERNATIONAL STUDIES COURSE
	I	情報・経営コース INFORMATION TECHNOLOGY BUSINESS MANAGEMENT COURSE
	P	心理・人間文化コース PSYCHOLOGY HUMANITY AND CULTURE COURSE
地域児童 教育専攻	C	児童教育コース CHILDHOOD EDUCATION COURSE



名称 英語名	共愛学園前橋国際大学 KYOAI GAKUEN UNIVERSITY
理念	共愛 = 共生の精神
目的	国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成 (Global + Local = Glocal)
モットー	学生中心主義 地域との共生
定員	入学定員299名 収容定員1,158名

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie

# 共愛学園前橋国際大学のチャレンジ

## 教育改革

### GLOCAL PROJECT

文科省4大事業同時採択全国2大学のみ

### ACTIVE LEARNING

学修成果の可視化と  
教学マネジメント

## 地方創生

在籍学生の  
9割弱が  
群馬出身

就職者の  
8割以上が  
群馬県内就職

地学一体  
の学び

## DX

2010年～  
ユビキタス  
キャンパス

### Full Paper Less Campus

### 文科省 PlusDX選定

- ・AIによる個別最適学修構築
- ・オンラインデジタルコンテンツの活用
- ・LMSの完全活用

## ガバナンス

教職一体ガバ  
ナンス

スタッフ会議  
運営センター

若手職員の活躍

# 本学のDPと学修成果指標「共愛12の力」

建学の理念：共愛＝共生の精神

教育の目的：国際的な視野を持ち、地域の諸課題を解決できる人材育成

## ディプロマポリシー（DP）

1. 地域社会の諸課題への対応能力
2. 国際社会と地域社会の関連性についての識見
3. 問題を発見し解決するための分析能力・実技的スキル
4. 国際化社会に対応できる十分なコミュニケーション能力



各コースが育む  
知識・スキル

## 共愛12の力

識見	共生のための知識
	共生のための態度
	グローバル・マインド
自律する力	自己を理解する力
	自己を制御する力
	主体性
問題に対応する力	分析し、思考する力
	構想し、実行する力
	実践的スキル
コミュニケーション力	伝え合う力
	協働する力
	関係を構築する力

理念・目的・DP・地域産業界ニーズ  
から導かれる達成指標



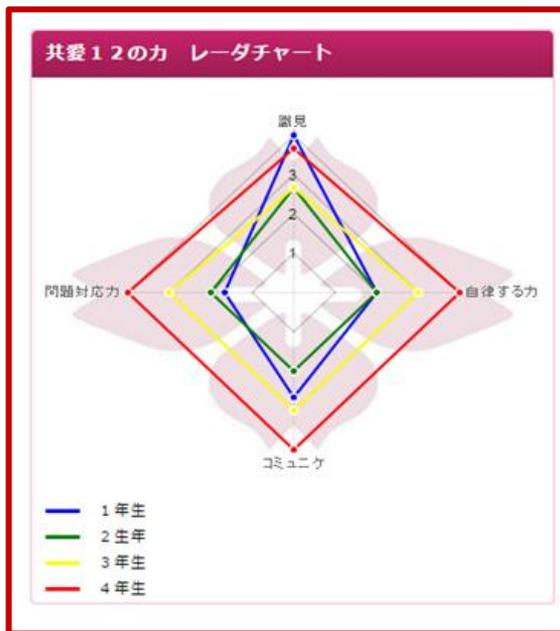
シラバスに「共愛12の力」との対応を明記

→KCG（eポートフォリオ）に履修履歴と共に蓄積

# — KYOAI Career Gate —

4年間の主体的な学修とその成果を目に見える形で積み上げ、キャリアにつなげる

4年間に会うたくさんの学びと活動。  
その一つ一つを、eポートフォリオである**KCG (KYOAI CAREER GATE)**に蓄積し、自分の学修を振り返りながら、それをエビデンスとして、学修成果指標に基づく成果の自己評価と可視化。  
さらに、その活動や成果を**SHOWCASE (KCG+S)**を通して社会へと発信し、目指すキャリアへと接続。



## 4年間の学修で身に付ける4つの軸と12の力 (学修成果指標)

識見	■ 共生のための知識	■ 共生のための態度	■ グローカル・マインド
自律する力	■ 自己を理解する力	■ 自己を制御する力	■ 主体性
コミュニケーション	■ 伝え合う力	■ 協働する力	■ 関係を構築する力
問題に対応する力	■ 分析し、嗜好する力	■ 構想し、実行する力	■ 実践的スキル

## SHOWCASE (KCG+S)

KCGに蓄積した成長の記録を公開履歴書としてキャリアに接続

≡ CAREER ≡

# KYOAI Career Gateの実際

### 共愛12の力

1年 2年 3年 4年

識見  
自律する力  
コミュニケーション  
問題に対応...

### 活動記録

年度	活動日	件名
2022	2022/4/30	月末終日
2021	2022/4/22	
2021	2022/3/20	活動記録繰り返し
2021	2022/3/19	活動記録繰り返し
2021	2022/3/18	活動記録
2021	2021/12/6	群馬大学教育サークル
2021	2021/11/11	Written English II
2021	2021/11/11	KCGの書き方
2021	2021/11/8	テストスケジュール（繰り返し）

### 授業振り返り

年度	授業	活動記録件数
2021	英語コースの時間	4件
2021	Unified English I A2	8件
2021	Written English I B1	2件
2021	Spoken English I A2	0件
2021	CALL I A	0件
2021	TOEIC Training I A1・A2	0件
2021	Extensive Reading I	0件
2021	フランス語I	2件
2021	キリスト教概論I	0件
2021	Psychology Today	0件

### 学年振り返り

1年生

目標  
毎日コツコツと勉強する。  
目標を立て、具体的な計画を立てる。

振り返り  
今年度の目標としてはおおむね達成できました。特に、目標を立てることについては、留学をすることとをきっかけに、現在情報収集準備をしています。

2年生

### 評価集計

評価	件数

### インフォメーション

◀ KCG事務局 ▶ KCGについてのお問い合わせは、

## <記録項目>

- 「共愛12の力」の自己評価
- 学内活動
- 学外活動
- 資格取得
- 読書履歴
- 学年目標
- 学年振り返り
- 授業振り返り

※活動記録は投稿時に自分で「12の力」とタグ付け  
 ※授業の12の力は履修情報・シラバスと連動



# 共愛学園前橋国際大学のPlusDX取組概要

# KYOAI Career Gate×AIによる個別最適学修の実現 ～地方小規模大学DXモデルの構築～

## 目的

UC (Ubiquitous Campus) と Full Paper-Less Campus を基盤とし、地方小規模大学の強みを補強し、弱みを克服するためのさらなるDX推進とKCGとLMSとAIの活用を通して、**学修者本位の個別最適学修**を実現する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に**個別双方向**の質の高い教育を展開する。

## 課題

多種多様な教育データを十分に教育の高度化に生かすまでには至っておらず、それらの分析を通して、個々の学生が自身に個別最適な学修プログラムをデザインできる仕組みを構築する必要がある。加えて、学生支援や運営業務においても、一部紙媒体を要する業務が残っており、**Full Paper-Less Campusは完全には達成されていない**。教職員の働き方も含めた**業務DX推進**も課題である。

# 取組計画

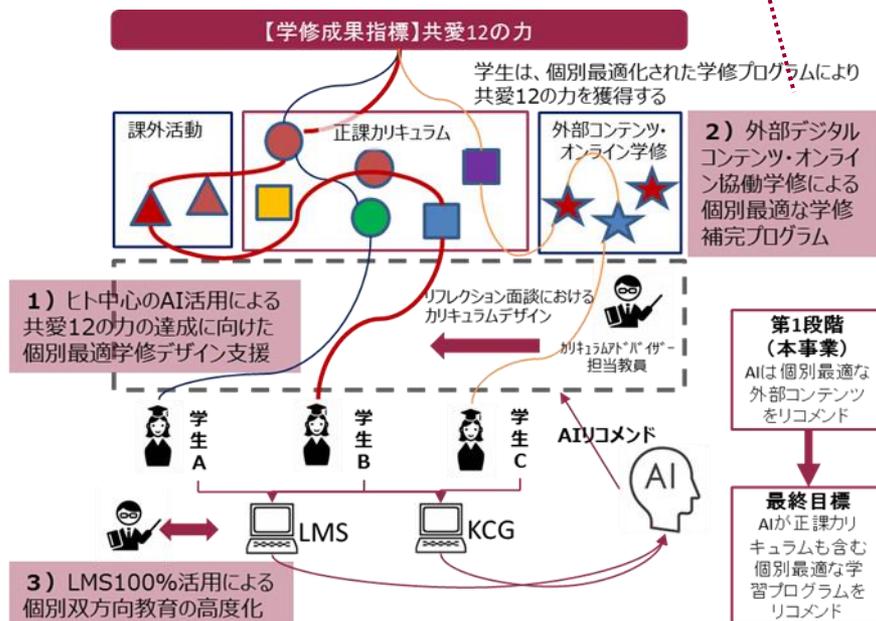
- 地方は**多様な専門分野の人材が不足**しており、**多様な教育を用意しづらい**
- 地域の人材マーケット分野は多様かつ小規模のために、地域の人材ニーズに対応する学位プログラムを設置することは現実的ではなく、常に更新されるニーズや知見を補完する教育を用意することも困難
- 地方小規模大学の弱みをDXで強化・補強→地方小規模大学モデルへ

## 大学運営領域DX

- (1) Full Paper-Less Campusの構築
- (2) Full Remote Access Campus の構築
- (3) DX推進研修の充実

## 教育領域DX

- (1) ヒト中心のAI活用による「共愛12の力」の達成に向けた個別最適学修デザイン支援
- (2) 外部デジタルコンテンツの活用、並びに国内外の大学等とのオンライン協働学修の導入による個別最適な学修補完プログラム
- (3) LMS100%活用による個別双方向学修の高度化



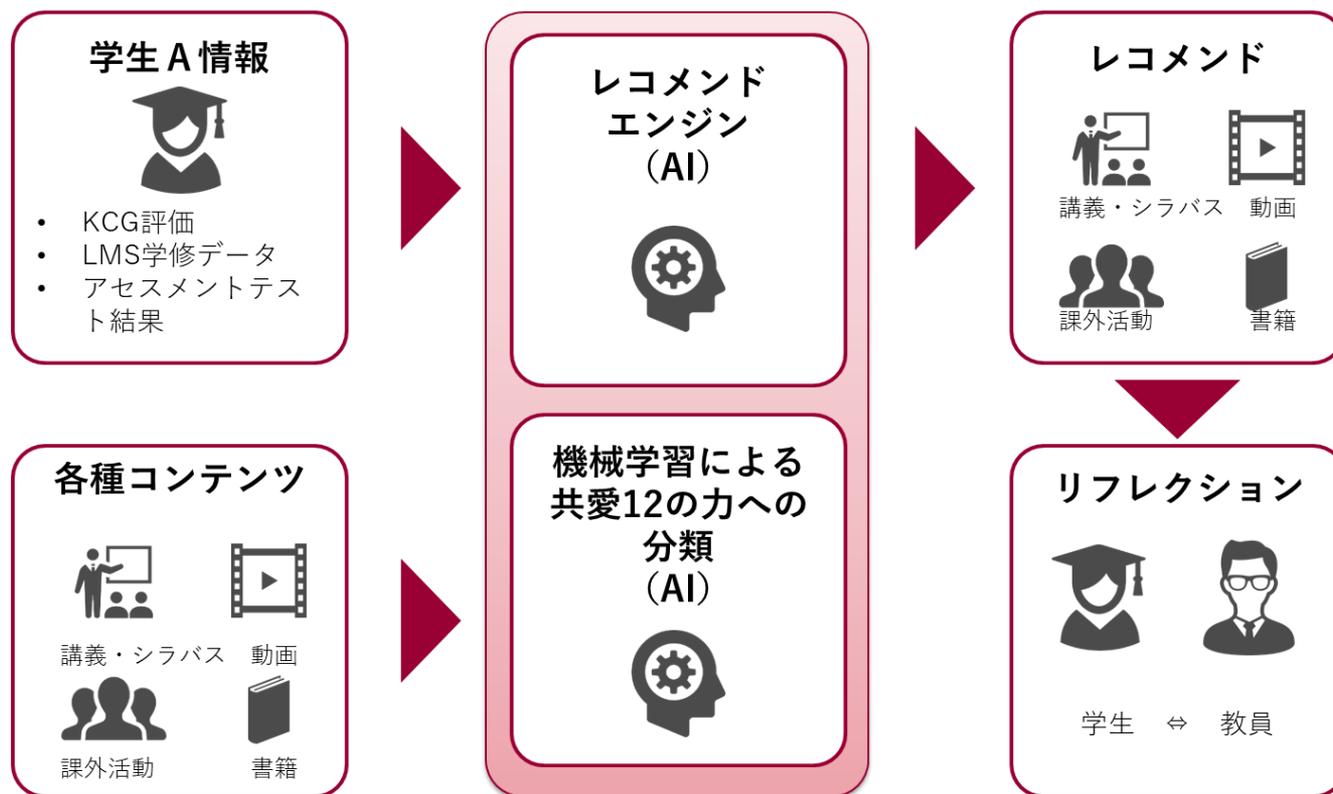


# 共愛学園前橋国際大学のDX推進≒ヒト中心のDX推進

# 教育DX:ヒト中心のAI活用による個別最適化学修の実現

## 目標

学修者本意の個別最適学修を実現する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に個別双方向の質の高い教育を展開する。



# KOL(Kyoai Optimized Learning)学生画面

≡ KOL ( KYOAI Optimized Learning ) テストユーザー

レコメンドページ

科目

コメント入力

「振り返り(KCG記入)」重視  「目標(KCG記入)」重視

≡ KOL ( KYOAI Optimized Learning ) テストユーザー

評価

☆☆☆☆

感想

# 教育DX:外部コンテンツ活用

## Udemy

世界最大級オンライン  
学修プラットフォーム  
(Benesse)

担当：教務学生部 若手職員

## 電子図書館サービス

担当：図書館司書

## COIL本格化

担当：Glocal Office / コース

## 国内大学との オンラインPBL

担当：学長・学部長

※コロナ禍での知見も含め、代替ではなくより柔軟な個別最適学修へ

# 教育DX:LMS活用促進

## 課題

- 機能の豊富さとUIのわかりづらさとのトレードオフ問題
- マルチメディアファイル（動画・音声）への対応力
- 遠隔授業化によるトラフィック増大
- 学内教職員の負荷増大（サーバー管理／システム管理／利用教育）

## 検討内容

- LMSが担う学修内容の精査
- 各授業における現在の使用方法との整合性
- アフターコロナにおけるLMSの使われ方／本学の教育の方向性（反転学習含む）

**担当：副学長・学部長、ITC若手教員＋最ベテラン教員＋若手職員、教務**

## 検討結果（暫定）

- 外部SaaS型Moodleサービスへの移行
  - 運用実績の活用によるタブレット・スマホ対応
  - 本学教職員は教育（利用方法の教育含む）に専念
  - サービスプロバイダの提供プラグインによるマルチメディア対応
  - クラウド利用によるスケールダウン／スケールアウト対応

# 教室のDX化

## 大教室のハイブリッド（ハイフレックス）化

- 対象：収容人数上位5教室
- 登壇者撮影用カメラ
- PC画面＋登壇者映像＋教室内マイク音声の映像作成
- Youtube配信・映像記録可能（ボタン一つで配信・記録可能  
**※豊富な機能よりも「誰でも配信ができる環境」をめざして**



## DX演習室

- カメラ備え付けの演習室
- コラボゼミや遠隔ゲストとのミーティングを可能に



## 授業コンテンツ収録ブース

- 防音・遮光のコンテンツ収録ブース（一人用）
- 遠隔授業のコンテンツ作成の支援スタッフ

担当：総務部若手職員＋総務部長、ITC若手職員、学長 他

# 大学運営DX

従来

After DX

RPA

経理部門のみ

全部門導入

担当：経理部若手職員

Paper  
Less

会議のペーパーレス化

添付書類／出退管理に  
拡張

担当：ヘルプデスク採用

リモート  
ワーク

リモートアクセスツールの  
利用  
(部課長クラス以上)

キャンパスモバイルフォン  
導入  
リモートアクセス方法の  
再検討

担当：総務部若手職員



ご清聴ありがとうございました



共愛学園前橋国際大学  
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY